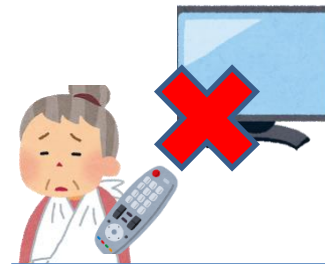


画像技術を用いたコミュニケーション支援システムの開発

情報工学科 藪木 登

研究の動機

身体の不自由な方や高齢者では、自分自身で、電化製品等の装置を操作することが難しい場合があります。そのために、介助者が必要となっています。



電化製品の操作



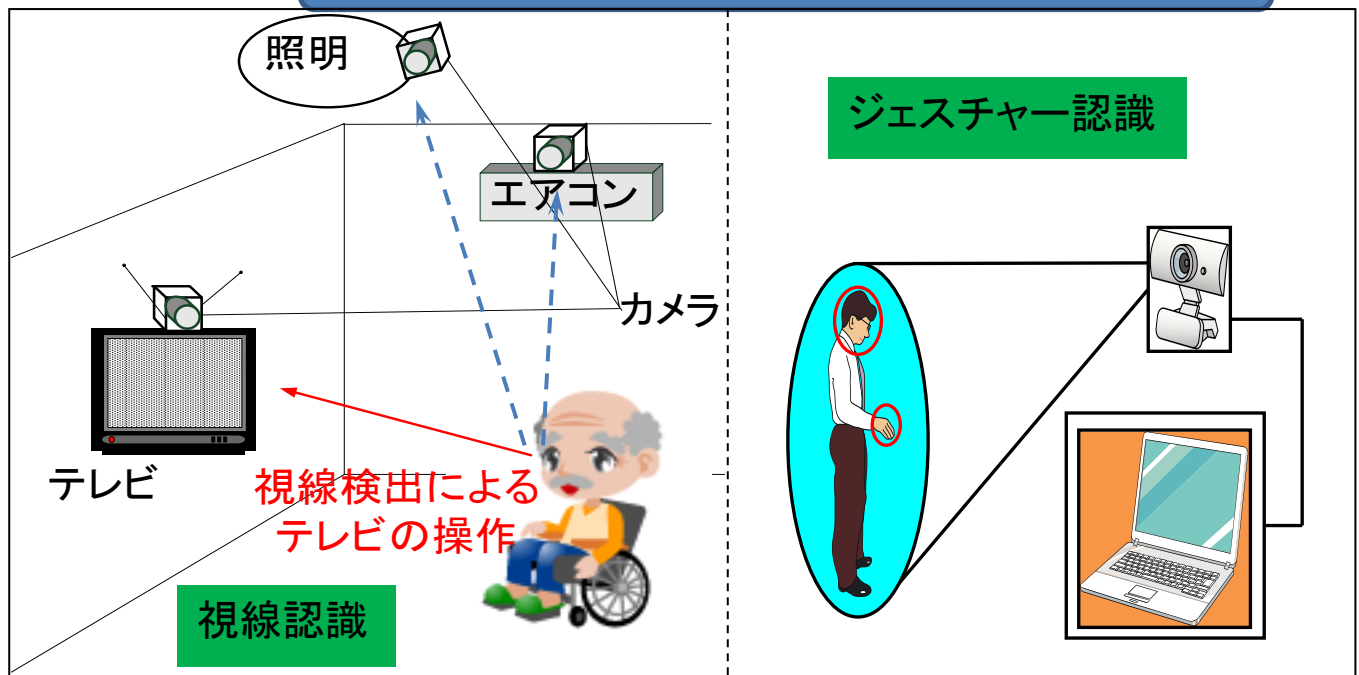
手話による会話

研究の目標

利用者の視線や身振りを理解し、電化製品等を操作するように人の手助けをする装置を作り上げていきます。

研究の内容

コミュニケーション支援システムの概要



研究の様子

(5年生の卒業研究で実施)



今後の目標: コミュニケーション支援システムの多機能化・性能向上